

第8回 養父市国家戦略特別区域会議資料

養父市 中山間農業改革特区

平成29年2月10日

養父市長 広瀬 栄

住環境システム協同組合

代表理事 高柴 優

養父市の近況と特例の追加活用

企業による農地取得に係る農地法の特例（法人農地取得事業）の活用

平成28年11月9日 計画認定分

(株)Amnak (養父市)

酒米の生産、日本酒の国内販売・輸出を行う。

兵庫ナカバヤシ(株) (養父市)

ニンニクの「養父市ブランド」の確立を目指し、本格的なニンニク生産に取り組む。

(株)やぶの花 (養父市)

中山間地発の本格的なリンドウ生産に取り組む。

H28.11
取得済

H28.11
取得済

H29.2
取得済

今回追加する計画

住環境システム協同組合 (養父市)

遊休農地を取得し、小規模閉鎖型屋内野菜生産場を設置。

特区指定による波及効果

◇農地取得の下限面積を1アールからに（養父市農業委員会の柔軟な対応）

空き家に付属する農地をセットで取得する場合に、農地取得の下限面積(10a)をさらに緩和
家庭菜園程度に農業をはじめたい移住・定住者をターゲット

☞ 空き家の有効活用と小規模農地の流動化促進による多様な農業の担い手を確保

特区推進共同事務局会議の開催

◇第1回(H28.12.19)、第2回(H29.1.28)の特区推進共同事務局会議を開催

☞ 「自家用自動車の活用拡大」の事業化に向け、調整が本格化

☞ 「テレビ電話を活用した薬剤師による服薬指導」の課題解決へ向け始動

法人農地取得事業の活用(第2弾)

法人の概要

【法人名】 住環境システム協同組合
【所在地】 兵庫県養父市藪崎1050番地
【設立年月日】 平成15年10月1日
【資本金】 500万円
【代表者】 代表理事 高柴 優

事業のねらい

水耕栽培システム「小規模閉鎖型屋内野菜生産場」の普及による、耕作放棄地等の活用と新しい農業ビジネスモデルの構築

事業概要等

- 小規模水耕栽培によるレタス等の共同生産販売を行うための実証拠点となる小規模閉鎖型屋内野菜生産場(地元産材使用)を設置 <セル式モジュール型水耕栽培システム>
- 2棟の施設により生産の安定化と販路を開拓
- 小規模閉鎖型屋内野菜生産場を市内企業や農家等へ普及し、同組合が集出荷するビジネスモデルの構築を目指す

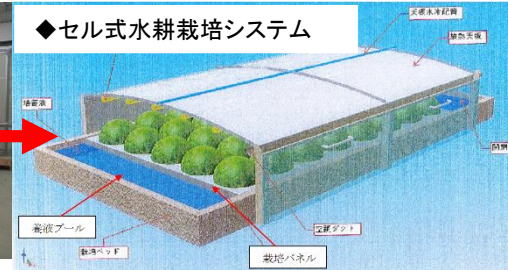
◆小規模閉鎖型屋内野菜生産場(外観イメージ)



◆モジュール型栽培棚



◆セル式水耕栽培システム



やぶシタス



◆小規模閉鎖型屋内野菜生産場(内観イメージ)



セル式モジュールの定義

セル式	縦2.4m、幅1m、高さ0.42mのカプセル型密閉空間を「セル」と呼ぶ 各セルはLED電球、送風装置、CO2注入装置を備えている
モジュール型	各セルを建屋に応じ、横・高さの列を任意に組み合わせ、モジュール型のラインを構築する